鳥取県地域医療支援センター 広報誌

2019 / Winter vol.02

DOCトリ!

鳥取の地域医療を考えるマガジン　ードクトリ！ー

DOCトリ!

第2号　2019年2月発行　鳥取県地域医療支援センター

特集1　わたしのまちのDOCトリ！

鳥取市佐治町国民健康保険診療所 医科医長
渡部 純 先生

特集2　学生生活をサポートする「鳥取県医師確保奨学金」
イメージモデルを参考にキャリアプランを考えよう！

※本誌掲載の写真、図版、記事などの無断転載を禁じます。

鳥取県地域医療支援センターからのお知らせ

NEWS 1　医学生スプリングセミナーin鳥取2019 を開催します

鳥取県の地域医療を体験してみませんか?

開催日　平成31年2月下旬～ 3月下旬

対象施設　県内の医療機関 約40施設
（総合病院、自治体立病院や診療所など）

参加費　無料
（※交通費、宿泊費の助成あり。）

鳥取県では、県内外の大学の医学生を対象に、県内の地域医療の現場に触れて、地域医療への関心を高めていただくため、医学生スプリングセミナーを開催します。

県内の様々な特色のある医療機関で、地域の医療現場を体験できる貴重な機会です。多くの皆さまのご参加をお待ちしています！

応募方法等の詳細は、鳥取県医療政策課ホームページをご覧ください。

応募方法等の詳細はこちらから!
https://www.pref.tottori.lg.jp/238708.htm
※医学生サマーセミナーも8～9月頃に開催します。

NEWS 2　2020年度から初期臨床研修制度が変わります

今まで選択必修だった科目が必修に追加されます。ほかにもいろいろ改正点があります。該当年に当たる方は要チェック！ 2019年4月には各臨床研修指定病院からプログラムが公表される予定です。

現在	2020年度以降
3科目必修 ＋ 5科目から2科目選択必修 ＋ 選択科目	7科目必修 ＋ 選択科目
	一般外来で4週以上の研修含む
内科／6カ月	内科／24週
救急／3カ月	救急／12週（4週まで麻酔科可）
外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科 2科目選択	外科／4週
	小児科／4週
	産婦人科／4週
	精神科／4週
地域医療／1カ月	地域医療／4週
選択科目／12カ月程度	選択科目／48週

鳥取県地域医療支援センターについて

鳥取県地域医療支援センターは、鳥取県・鳥取大学医学部附属病院が連携し、鳥取県の地域医療の充実・発展のために2013（平成25）年1月に設置されました。私たちは、鳥取県の医師不足解消のために、地域枠などの医師のキャリア形成支援や医師の地域偏在解消に取り組んでいます。専任医師も勤務しており、皆さまのご相談などを伺っています。

ご相談やお問い合わせはこちらまで

鳥取県の医療・奨学金制度に関すること
鳥取県福祉保健部 健康医療局 医療政策課
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220
TEL 0857-26-7195　FAX 0857-21-3048

医師のキャリア形成・相談に関すること
鳥取大学医学部附属病院 鳥取県地域医療支援センター
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
TEL 0859-38-7005　FAX 0859-38-7006

とっとりドクター Naviの配信を始めました

ご登録いただいた方には、『DOCトリ!』を毎号お届けします!

鳥取県の地域医療に関心をお持ちの全国の高校生・医学生・研修医の皆さまに向けて県内の医療情報や勤務に関する情報、医師としてのスキルアップに役立つ情報をメールでお届けします。どなたでもご登録いただけます。

「とっとりドクター Navi」ご登録住所の確認について
とっとりドクター Navi登録者の皆さまにおかれまして、勤務先の変更や転居により送付先住所に変更がございましたら、お手数ですが鳥取県地域医療支援センター（本ページ末尾）までご連絡をお願いいたします。なお、ご登録情報の変更については、鳥取県医療政策課ホームページの登録申込フォームでも承っております。

とっとりドクター Navi
登録申込フォーム ▸▸▸
https://www.pref.tottori.lg.jp/273080.htm

広報誌名『DOCトリ！』の由来

「DOCTOR」と「鳥取県」を合わせた造語です。医師の皆さんに、鳥取県で活躍してほしいという願いが込められています。

編集発行　**鳥取県地域医療支援センター**

〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1（鳥取大学医学部附属病院内）　TEL 0859-38-7005　FAX 0859-38-7006
Eメール t-chiikicen@med.tottori-u.ac.jp　ホームページ http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/

□ 制作／有限会社キーワード　〒680-0051 鳥取県鳥取市若桜町39 ロゴス文化会館1F　TEL 0857-29-4018

特集1

わたしのまちのDOCトリ!

File No.1

鳥取市佐治町
国民健康保険診療所 医科医長

わたなべ じゅん
渡部 純 先生

地域医療に携わることで医師としてさらに成長したい

鳥取県には人口減少・高齢化の進む中山間地域が点在している。遠く離れた市街地の総合病院へ行くのが難しい住民たちの頼りは“町のお医者さん”だ。ここ佐治町では、若い医師がその役目を担っている。

佐治町の特徴を理解し、健康課題にアプローチ

清流・佐治川の穏やかな流れに沿って集落が点在する静かな山あいの町・佐治町。鳥取県の東南部、車でも数十分走れば岡山県という県境に位置する。人口は約1900人で、梨栽培や稲作といった農業が主な産業だ。町内唯一の診療所は、そんな町のちょうど真ん中あたりにある。

「日中の患者さんは70～80歳と、県内の他地域と比べても高齢者が多いですね」。そう語るのは、医科医長を務める渡部純医師だ。「この地域では梨を作っている方が結構いらっしゃるので、収穫が終わる秋口から生活習慣病が悪くなり始める。例えば糖尿病の患者さんだと、繁忙期の夏場は暑い中で農作業をしているので血糖値のコントロールがかなりいいんですが、農閑期になると体を動かす機会が極端に減り血糖値が徐々に上がってくるんです」と、地域の健康課題を見出す。ゆえに診察では「梨がそろそろ終わりですね。血糖値が上がり始めるから気を付けて」と呼びかけ、予防の意識を必要とするが、「それを身に付けられるところが地域医療のやりがいであり、利点。この先どの診療科に進んでも、ここで培った知識と経験は生かせるはず」と、医師としての研鑽に励む。〝地域に育てられている〟ことを実感しながら、精いっぱい力を尽くす毎日だ。

平日の午後は訪問診療に出かける。運転免許証を返納した、バスに乗れないという高齢者は途端に通院しづらくなるからだ。そんな患者のため、山奥の集落まで車を走らせて診察を行っている。

渡部医師の住まいは診療所の2階。夜中にSOSの電話がかかってくることもあるという。「でも、実際に診察に出かけるのは月1回程度。大抵は電話相談のみで落ち着かれますね」。こうした丁寧な対応は、救急車要請回数の軽減にもつながっているようだ。〝地域に頼れる医師がいる〟という安心感が、住民にとっていかに大きなものであるかが分かる。

診療・健康教育・研究3本柱で医学の道を邁進

2年前から母校である自治医科大学大学院に入学、地域医療学の研究も行っている渡部医師。

「自治医大は脳卒中及び心筋梗塞の発症を10年間追跡調査し、頻度や要因を検討するコホート研究を行っており、私は現在その研究の解析の一部を手がけています。また、第2コホートとして2010年から生活習慣、血液検査、血圧等ベースラインデータの収集が始められていて、この診療所もその対象として登録しました。今後私が異動になったとしても追跡調査が継続できるようシステムを整えたところです」。

診察終了後はこうした研究や論文作成、大学院のeラーニングに時間を費している。「地域にいるから研究ができないということはない」と、今できる最大限の努力を積み重ねている。

普段の診療所の診察では、「渡部先生はとっても話しやすくてよい」「薬が今どれぐらい残っているかを聞いてくれてうれしい」といった言葉に、改めてやりがいを覚えている渡部医師。「もっと診療面を褒めてくださるのを期待していたんですが」と苦笑いするが、地域医療においてそれは、最高の賛辞なのかもしれない。

聞き上手の渡部医師。体のちょっとした不調や薬のことなど何でも相談しやすいと、来院患者らは大いに喜んでいる。

▲緑豊かな山あいに佇む診療所。内科・小児科・外科のほか、禁煙外来も行っている。隣には歯科も。

町内唯一の診療所が担うべき大切な役割とは

地域医療では、その人の普段の暮らしぶりや仕事、家族構成、生活環境、通院・入院歴など、生活のバックグラウンドを知っておくことが診療において重要なポイントとなる。渡部医師は、「そこが地域医療の面白いところ」と目を輝かせる。また、あらゆる疾患に対し迅速かつ的確な診断・治療を行うためには、幅広く豊かな知識と高い診療レベルをる。赴任してまだ2年もたたないが、行き届いた診療で多くの地域住民から信頼を集めている。

DOCトリ!'s Profile

1986年　鳥取県鳥取市生まれ
2012年　自治医科大学医学部 卒業
2012年　鳥取県立中央病院 初期臨床研修医
2014年　岩美町国民健康保険岩美病院 内科
2016年　自治医科大学大学院医学研究科 地域医療学系専攻 入学（岩美病院勤務）
2017年　鳥取市佐治町国民健康保険診療所 医科医長

【専　門】地域医療学／消化器外科
【資格等】日本内科学会認定医
【趣　味】テニス／ジョギング

わたしの鳥取LIFE!

フルーツの美味しさに感動

佐治町は梨などのフルーツの生産が盛んです。梨は「二十世紀梨」ぐらいしか知りませんでしたが、佐治町に来て新品種の「新甘泉（しんかんせん）」を初めて食べて、その甘さに驚きました。大玉の甘柿「輝太郎（きたろう）」も果肉がなめらかでとても美味しいんですよ。

特集2

学生生活をサポートする「鳥取県医師確保奨学金」イメージモデルを参考にキャリアプランを考えよう！

鳥取県には医師確保奨学金貸付制度があります。卒業後、鳥取県内の病院で一定期間勤務すると、奨学金の返還が全額免除されます。この制度を利用したときのキャリア形成について見てみましょう！

奨学金の種類

2018年4月現在であり、今後奨学金募集の内容について変更の可能性があります。

緊急医師確保対策奨学金

［ 特別養成枠 ］ 月額 15万円

募集人数		5人以内
対象	卒業高校	鳥取県内外問わず （鳥取県外の高校卒業者は、本人・保護者等の出生・本籍・現住所が鳥取県内である等、鳥取県に縁のある者）
	入学大学	鳥取大学医学部医学科推薦入試Ⅱ（特別養成枠）［2浪まで］
申請時期		大学入学前年の10月頃

臨時特例医師確保対策奨学金

［ 臨時養成枠 ］ 月額 15万円

募集人数		●鳥取大学：14人以内 ●岡山大学：1人以内 ●山口大学：1人以内
対象	卒業高校	鳥取大学、岡山大学は不問　山口大学は、鳥取県内の高校卒業者に限る
	入学大学	●鳥取大学医学部医学科一般入試（前期日程）（地域枠（鳥取県））［2浪まで］ ●岡山大学医学部医学科推薦入試Ⅱ（地域枠コース（鳥取県））［2浪まで］ ●山口大学医学部医学科推薦入試Ⅱ（地域医療再生枠（鳥取県枠））［2浪まで］

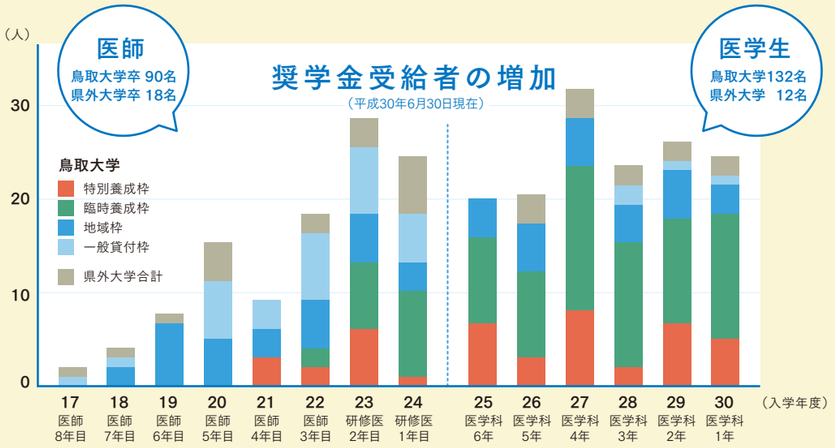
医師養成確保奨学金

［ 地域枠 ］ 月額 12万円

募集人数		5人以内
対象	卒業高校	鳥取県内高校を卒業
	入学大学	鳥取大学医学部医学科推薦入試Ⅱ（地域枠）［1浪まで］

［ 一般貸付枠 ］ 月額 10万円

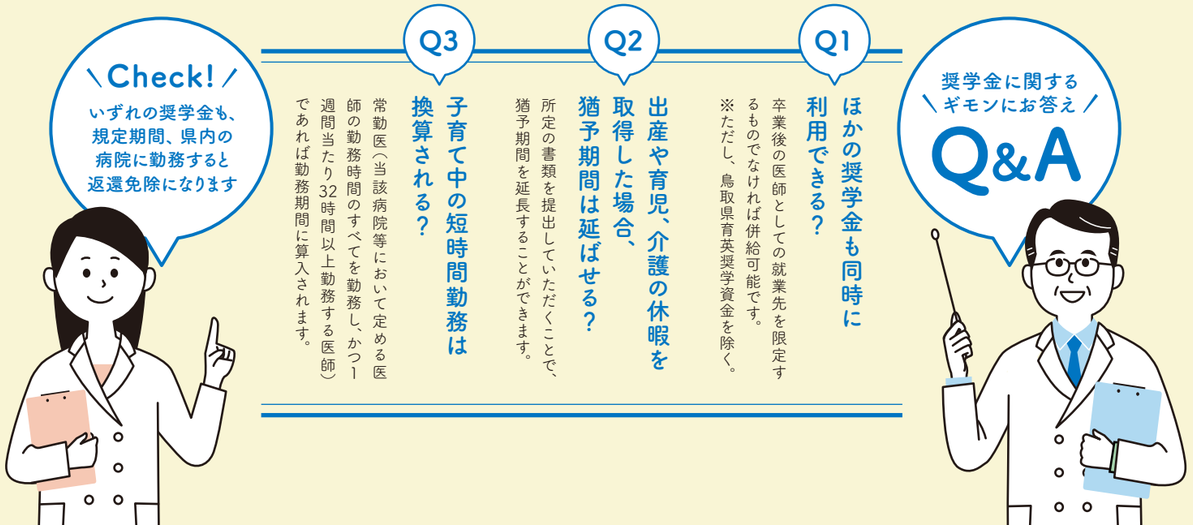
募集人数	5人以内（1～6年生）
対象	大学医学部医学科在学生（出身地、卒業高校、入学大学を問わない）
申請時期	各学年4月～5月の貸付案内時



医師確保奨学金貸付制度を利用した場合のキャリア形成イメージ

ここで示すイメージモデルは一例です。ほかにも様々なパターンが考えられます。
当センターでは、キャリア形成に関する支援を行っていますので、お気軽にご相談ください。

奨学金に関するギモンにお答え Q&A



Q1 ほかの奨学金も同時に利用できる？

卒業後の医師としての就業先を限定するものでなければ併給可能です。
※ただし、鳥取県育英奨学資金を除く。

Q2 出産や育児、介護の休暇を取得した場合、猶予期間は延ばせる？

所定の書類を提出していただくことで、猶予期間を延長することができます。

Q3 子育て中の短時間勤務は換算される？

常勤医（当該病院等において定める医師の勤務時間のすべてを勤務し、かつ一週間当たり32時間以上勤務する医師）であれば勤務期間に算入されます。

臨床研修病院

鳥取県で医師になろう!

臨床医に義務付けられている2年間の臨床研修。鳥取県内では8つの指定病院で研修を行っています。
その病院を毎号2つずつピックアップ！自分に合った病院を探す参考にしてください。

西部エリア	中部エリア	東部エリア
鳥取大学医学部附属病院	鳥取県立厚生病院	鳥取県立中央病院
山陰労災病院		鳥取赤十字病院
米子医療センター		鳥取市立病院
鳥取県内に全8病院!		鳥取生協病院

東部エリア

鳥取赤十字病院

赤十字の人道・博愛の精神を大切に、
地域に専門医療を提供しています。

当院は、全国に103ある赤十字施設の一つで、開設以来103年の歴史をもつ地域の中核病院です。地域医療支援病院、災害拠点病院として、患者さんに安心・安全・快適な医療を提供しています。

急性期医療を中心とした病院であり、中でも消化器疾患における上部・下部の内視鏡件数は県内トップクラスです。また、数多くのOB開業医とのつながりを大切にした病診連携にも力を入れており、鳥取県東部地区の地域医療支援病院として地域医療の一翼を担っています。

その他、災害活動も重視し、日本赤十字社としての救護班のほかに、災害派遣医療チーム（DMAT）を編成しています。

病院の特徴

- 鳥取市街地の中心に位置し、地域医療支援病院として多くの市民や開業医に信頼されている。
- 地域の医療機関と連携を密にし、急性期医療・救急医療や山陰随一の症例数を誇る内視鏡センターをはじめ、鳥取県唯一のリウマチセンター、頭頸部外科センター等で専門医療を、職員全員で協力して「チーム医療」として提供。
- 全国の被災地に出向いて災害救護活動を行い、赤十字に課せられた使命を果たしている。

研修プログラムの特徴

- 救急患者・救急車が多く、救急医療の研修が充実している。
- 各診療科においてコモンディジーズ（日常的に高頻度で遭遇する疾患）を豊富に経験できる。
- 指導医の指導の下、手技を直接行う機会が非常に多く、臨床に役立つ実践的な手技を習得できる。
- 症例数・疾患の多さは県内有数であり、プライマリ・ケアを中心に総合的な診療が行える。
- 自由選択期間が長く、将来のキャリアプランに見合ったプログラムを行うことができる。
- 総合診療外来において幅広い疾患を経験でき、実践的な外来研修を行うことができる。

研修スケジュール案

※2020年度から適用予定であり、変更になる場合があります。

1年次	内科：24週　救急：12週　外科：4週 小児科：4週　産婦人科：4週　精神科：4週
2年次	地域医療：4週　選択科目：48週

指導医に聞きました！

赤十字ならではのメリットを活用し、大きく成長してほしい。

第三外科部長
山代（やましろ）　豊（ゆたか）先生
消化器、乳腺、呼吸器、外傷外科、災害医療

研修医の皆さんには、赤十字の理念である『人道』の心をもって患者さんに寄り添い、患者さんから学ぶ姿勢を持ち続ける医師になってほしいと願っています。

当院では研修医の数が若干少なめですが、その分経験できる症例は非常に豊富です。熱心な指導医の下、充実した研修を積むことができます。またメディカルスタッフも含め病院全体が研修医の皆さんを育てようという空気に満ちています。赤十字の災害救護活動や訓練へ参加するチャンスもあります。研修医室も新装し、受け入れ環境は整っています。

初期研修医に聞きました！

学ぶべきポイントを意識しながら積極的に取り組んでいます。

研修医1年目
池田（いけだ）　大樹（ひろき）先生
鳥取大学出身

研修がスタートし半年が過ぎましたが、毎日充実した日々を過ごしています。

現研修制度では複数の診療科をローテーションするため、どういう状況であれば専門科にコンサルトすべきなのかを特に意識して研修しています。また、他院での研修を通してたくさんの研修医や医師たちから学ぶ機会があり、現時点でどれだけの症例を経験し考え方を身に付けたかを客観的に把握し、研修のモチベーションにつなげています。自分から積極的に学ぶ姿勢を忘れずに頑張りたいです。

病院データ

病床数	350床（うち一般350床）
医師数	55名
指導医数	32名
研修医数	1年次：1名、2年次：1名
入院患者数	1日平均295名（H30.11）
外来患者数	1日平均584名（H30.11）

お問い合わせ／応募連絡先

担当部署　鳥取赤十字病院 総務課
所在地　〒680-8517 鳥取県鳥取市尚徳町117番地
TEL・FAX　TEL.0857-24-8111　FAX.0857-22-7903
E-mail　kyouiku2@tottori-med.jrc.or.jp
WEBサイト　https://www.tottori-med.jrc.or.jp/

西部エリア

山陰労災病院

地域医療、救急医療への貢献と勤労者医療を推進する総合病院です。

山陰労災病院は、鳥取県西部では鳥取大学医学部附属病院に次いで病床数が多い総合病院です。時間外救急患者数は年間約8千例と多くの救急患者を受け入れており、中でも脳卒中、急性心筋梗塞等他の二次救急病院では受け入れ困難な症例を受け入れるなど、西部地区の二次救急の中核を担っています。

当院の基本方針は、初期臨床研修の2年間でプライマリ・ケアに十分対応できる、心・技・体とも優れた臨床医を育成することです。どのような状況が起こっても、指導医が研修医を受け止める体制をつくっています。山陰の風光明媚な場所での研修を希望される研修医をお待ちしています。

病院の特徴

- ●地域の医療・介護・福祉施設と連携し、地域医療を支援する24診療科を持つ総合病院。
- ●積極的な救急患者の受け入れを行い、県西部の中核を担う二次救急病院。
- ●勤労者医療を担い、働く人の健康維持、治療と就労の両立支援を実施。
- ●消化器、腎代謝、呼吸器、循環器、中枢神経、骨関節、脳卒中、心筋梗塞、がん、小児・周産期医療等、豊富な診療科にて研修可能。

病院データ

病床数	377床（うち一般377床）
医師数	77名
指導医数	53名
研修医数	1年次：1名、2年次：2名
入院患者数	1日平均289.5名（H30.10）
外来患者数	1日平均631.9名（H30.10）

お問い合わせ／応募連絡先

担当部署　山陰労災病院 総務課 臨床研修担当
所在地　〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田1-8-1
TEL・FAX　TEL.0859-33-8181　FAX.0859-22-9651
E-mail　soumu1@saninh.johas.go.jp
WEBサイト　https://www.saninh.johas.go.jp/

研修プログラムの特徴

●2年間を通した救急研修
救急研修においては二次救急をしっかりと研修できる環境にあり、2年間を通して行うプログラムとなっている。これには、決まった数カ月のみ救急研修を行うのではなく、途切れることなく研修できるというメリットがある。

●研修の形成的評価
研修の方針で重要視しているのは、研修評価において独自のポートフォリオを使用していること。研修医の記録に対して、必ず各指導医がアドバイスを記入し返すことで形成的評価を行っている。

●当直は休日の日勤帯のみ
当院は二次救急患者が日勤帯にも多くあり十分に経験を積むことができるので、研修医の当直勤務は休日の日勤帯のみを基本としている。夜間の当直はなく、夕方からは自分の勉強時間を確保できるよう配慮している。

研修スケジュール案

※2020年度から適用予定であり、変更になる場合があります。

1年次	内科：24週　救急：12週　外科：4週　小児科：4週 産婦人科：4週　精神科：4週　地域医療：4週 ※救急研修は、救急基礎研修を4週行い、残り8週分は2年間を通して実施。
2年次	選択科目：48週

指導医に聞きました！

地域の二次救急を担う現場だからこそスキルが十分に高められる。

臨床研修副センター長（循環器科部長）
水田栄之助（みずた えいのすけ）先生
高血圧、心臓CT、遺伝子疾患

当院には、高齢者で合併症を持った方（例：糖尿病、心不全・腎不全も合併、脳梗塞を発症し寝たきり、誤嚥性肺炎で当院に救急搬送等）が多く来られます。三次救急の高度医療機関ではそれぞれの病気を深く勉強できるのに対し、当院のような二次救急病院では一人の患者さんを通して様々な病気を勉強することができます。

「病気を診ずして病人を診よ」ということは、研修医にとって非常に大事なことです。ぜひ当院で「一人の患者さんを総合的に診る」というトレーニングをしてください。

初期研修医に聞きました！

たくさんの症例を経験できる環境と丁寧な指導により充実の毎日。

研修医2年目
児玉 福美（こだま ふくみ）先生
島根大学出身

山陰労災病院を研修先に選んだ理由は、先生方が優しく、また病院の雰囲気も温かいと感じたからです。実際の研修でも、各診療科の先生方はとても親切に指導してくださいます。

二次救急の多くの症例に接する機会があり、定員数も多すぎず、手技なども積極的に経験することができます。研修プログラムは2年目がすべて選択科目で、個々の進路に合わせて柔軟に決められる点が大きなメリットだと思います。当直は日勤帯のみで、研修医の健康面に配慮してあるところも魅力の一つです。

鳥取県で初期臨床研修をしませんか

鳥取県は県と県内臨床研修病院が協議会を立ち上げ、
研修医のための様々な取り組みを行っています。

主な事業
- 臨床研修病院見学旅費の助成
- 研修医交流会の開催
- 臨床研修セミナーの開催

詳しくはWEBで！

お問い合わせ　鳥取県福祉保健部 健康医療局 医療政策課 医療人材確保室
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1-220　TEL.0857-26-7195　FAX.0857-21-3048　E-mail ishikakuho@pref.tottori.lg.jp

鳥取県　臨床研修

若手医師REPORT

DOCトリ！のタマゴ

「これから“DOCトリ！”になるぞ」と頑張っている先輩たちに、これまでの歩みや現在の様子を聞いちゃいました！

目標を高く掲げ、関西と鳥取の両方で研修

鳥取大学医学部附属病院
初期臨床研修2年目

おおつか　ゆうま
大塚 裕眞 先生

1992年　鳥取県鳥取市生まれ
2017年　鳥取大学医学部医学科 卒業
2017年　公益財団法人田附興風会
医学研究所 北野病院
初期臨床研修医1年目
2018年　鳥取大学医学部附属病院
初期臨床研修医2年目

「将来は鳥取県内で家庭医として働こう」。私はその理想に近づけるような初期臨床研修をしようと思い、研修先を決定しました。それを踏まえて選んだのが、鳥大病院の「関西たすきがけプログラム」です。1年目は関西の協力型病院で、2年目は鳥大病院で研修を行うというプログラムで、最初の年は関西でのつながりを持ちながらいろんな症例を経験したい、2年目はそういった経験を踏まえて自分のペースでじっくり勉強をしたいという思いがあり、このプログラムを選択しました。

実際に1年目は大変なことがたくさんありました。目の前で患者さんが心肺停止になったり、指導医が不在のときに患者さんが急変したりと、病院から帰れないような日もありましたが、そういった経験が今に生きていると思います。

今後も家庭医としてしっかりと地域に根差した医療ができるよう邁進したいと思います。

わたしの鳥取LIFE!

江府町にしかない山麓の美景は必見

大学時代「地域医療研究部」というサークルで、日野郡江府町の皆さんと一緒に健康について考える活動をしていました。写真はその同窓会の様子です。大山山麓にある江府町は、ブナの原生林やのどかな田園風景など絶景ポイントがいっぱいなんですよ。

診療しながらステップアップの努力を継続

岩美町国民健康保険 岩美病院
内科

なかだ　ゆうすけ
中田 裕資 先生

1989年　鳥取県倉吉市生まれ
2015年　鳥取大学医学部医学科 卒業
2015年　鳥取県立中央病院
初期臨床研修医
2017年　鳥取県立中央病院 総合内科
2018年　岩美町国民健康保険
岩美病院 内科

医師4年目の中田裕資と申します。鳥取大学医学部医学科に特別養成枠として入学し、2015（平成27）年に卒業後、2年間の初期臨床研修を経て、現在は岩美町国民健康保険岩美病院で内科医として勤務しています。

将来の専門としては消化器を考えており、地域では内科診療をしながら、週に1度鳥取県立中央病院消化器内科で消化器診療を勉強させていただいております。

特別養成枠の1期生として地域に出るまでに不安な面もありましたが、自治医科大学出身の先生方をはじめ、たくさんの先生方、医療スタッフの方々に支えられ、充実した毎日を送っています。

まだまだ学ぶことがたくさんあり、これからの課題も多いですが、困っておられる患者さんのお力になれるよう日々精進していきたいと思っています。

わたしの鳥取LIFE!

心も体も癒される青い海＆旨い魚介

岩美町は、青く澄んだ日本海と荒波に削られたリアス式海岸の景勝が美しい町です。休日には釣りをしながらきれいな海を眺めたり、近くの漁港に水揚げされた新鮮な魚介など地元ならではの特産物を肴にお酒を嗜んだりしてリフレッシュしています。

1度は行くべし！

TOTTORI☆イチオシ名鑑

Enjoy Tottori life!

地元の魅力を知り尽くす謎の編集部員「SR」が、観光地とグルメを毎号1カ所ずつご紹介します。せっかくの鳥取LIFE、楽しまなきゃ損ですよ！

降り注ぐ星のしずく 銀河の旅へ出かけよう！

鳥取県は、どの市町村でも美しい星空を眺めることができる「星取県」です。中でも街灯りが少なく空気が澄んでいる佐治町の星空はピカイチ！ロマンチックなこの場所で星の世界に浸ってみませんか。

夜の「天体観察会」では、国内第8位の大きさを誇る口径103cmの大型望遠鏡で見頃の惑星や神秘的な星雲などを見ることができます。日中や曇天時なら「プラネタリウム」がオススメ。2部構成で、前半は当日の星空をスタッフが生解説。後半のデジタル番組も迫力ある映像で見応えがありますよ。宇宙食や星取県グッズ等が並ぶ「アストロショップ」もCheck it out！

遊 \@Eastern/

鳥取市さじアストロパーク

住 鳥取市佐治町高山1071-1　☎ 0858-89-1011
営 9：00〜22：00（10〜3月は〜21：00）
※最終入館は閉館の30分前
休 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日、年末年始　※臨時休館あり
¥ 入館料／一般（高校生以上）300円、中学生以下無料
※プラネタリウム、天体観察会は別途料金が必要です
P あり（無料）　鳥取道用瀬ICから車で約25分

食 \@Western/

境港の海鮮どんぶり 山芳亭（やまよしてい）

▲松葉ガニ スペシャル丼 1,800円
（カニ酢・みそ汁付き）
※提供期間〜3月下旬まで
（水揚げの状況によりご提供できない日もあります）

住 西伯郡日吉津1026-1 イオンモール日吉津店駐車場内（新鮮市場内）
☎ 0859-37-1011　営 11：30〜15：00
休 水曜日、12/27〜1/4、不定休　P あり（無料）
JR米子駅から車で約20分、山陰道米子東ICから車で約8分

冬のグルメ王・松葉ガニを味わい尽くす奇跡の一杯！

鳥取の冬の味覚といえば「松葉ガニ」。カニすきやフルコースで頂きたいところだけど、高級グルメだけになかなか手が出ないという人も多いのでは？しかしここ海鮮どんぶり専門店・山芳亭なら、美味しい松葉ガニをリーズナブルなお値段でゴージャスに堪能できちゃうんです。

4〜6本の松葉ガニの足、腹の身が丼の上にドーン！ベニズワイガニのほぐし身もたっぷり、さらにはイクラ&ウニのトッピングという豪華さ。“新鮮・旨い・安い”の秘密はお魚屋さん直営だから。すぐ隣の店舗には松葉ガニをはじめ旬の海産物がズラリで、お土産も買えますよ♪